

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年12月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

*文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

(1) 2018年12月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比8ヶ月連続の増加となる21.8%増の164.5万TEU。12月単月で過去最高を記録するとともに、6ヶ月連続で150万TEU超え。10-12月の四半期別累計では、9期連続の増加となる前年同期比15.6%増の491.5万TEUと過去最高を更新。また、2018年・年計では前年比7.8%増の1,783.0万TEUと過去最高を更新。

*なお、8月の荷動き量が157.9万（155.4万）TEUに上方修正され、前年比伸び率が0.3%減から2.0%増とプラスに転じ、さらに10月の荷動きは160.9万TEU（8.1%増）が173.5万TEU（16.6%増）に大幅に上方修正されて、はじめて170万TEU台を記録。

(2) 国別では、日本（7.0%増）、中国（27.7%増）、韓国（23.0%増）、台湾（5.6%増）、ベトナム（9.3%増）、インド（21.9%増）などの主要国は増加。地域別では、ASEAN（7.5%増）、南アジア（18.7%増）ともに増加。

(3) 品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度4.6%増）、「繊維及びその製品」（同1.8%増）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同1.4%増）、「一般電気機器」（同1.0%増）、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」（同0.9%増）などが増加に寄与。

(4) 日本は、3ヶ月連続の増加となる7.0%増の5.5万TEU。2018年・年計では、3年連続の増加となる2.8%増の66.5万TEU。品目別の1位（2017年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（0.4%増）、3位の「タイヤ及びチューブ」（11.6%増）及び4位の「建設機械」（21.8%増）が2ヶ月連続の増加、2位の「車両機器及び部品」（17.6%増）が8ヶ月連続の増加。

(5) 中国は、7ヶ月連続の増加となる27.7%増の111.7万TEU。2018年・年計では、7年連続の増加となる8.4%増の1,162.8万TEUと過去最高を更新。1位の「家具及び家財道具」（30.7%増）、2位の「繊維及びその製品」（22.8%増）及び3位の「一般電気機器」（34.1%増）が4ヶ月連続の増加。香港は2ヶ月連続の増加となる7.2%増の2.5万TEU。2018年・年計では、0.8%減の29.9万TEU。

(6) 韓国は、3ヶ月連続の増加となる23.0%増の8.0万TEU。2018年・年計では、2年ぶりの増加となる6.8%増の84.6万TEUと過去最高を更新。1位の「自動車部品」（46.1%増）が7ヶ月連続の増加、2位の「一般電気機器」（9.4%増）が2ヶ月ぶりの増加、3位の「タイヤ及びチューブ」（32.6%増）が3ヶ月連続の増加、4位の「車両機器及び部品」（32.9%増）が4ヶ月連続の増加。

(7) 台湾は、4ヶ月連続の増加となる5.6%増の5.4万TEU。2018年・年計では、9年連続の増加となる4.1%増の65.5万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（23.3%増）が7ヶ月連続の増

加、3位の「家具及び家財道具」（6.3%増）及び4位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（9.9%増）が4ヶ月連続の増加。

(8) ASEANは、全体では6ヶ月連続の増加となる7.5%増の23.6万TEU。2018年・年計では、9年連続の増加となる6.9%増の273.9万TEUと過去最高を更新。ベトナムは33ヶ月連続の増加となる9.3%増の10.3万TEUと6ヶ月連続で10万TEU超え。2018年・年計では、9年連続の増加となる9.6%増の118.2万TEUと過去最高を更新。1位の「家具及び家財道具」（19.0%増）が7ヶ月連続の増加、2位の「繊維及びその製品」（2.7%増）が9ヶ月連続の増加、3位の「履物及び付属品」（17.8%増）が18ヶ月連続の増加。

(9) 南アジアは、全体では6ヶ月連続の増加となる18.7%増の7.8万TEU。2018年・年計では、9年連続の増加となる12.7%増の99.8万TEUと過去最高を更新。インドは6ヶ月連続で10%を超える増加となる21.9%増の5.9万TEU。2018年・年計では、9年連続の増加となる15.0%増の74.4万TEUと過去最高を更新。1位の「繊維及びその製品」（29.3%増）及び2位の「家具及び家財道具」（29.4%増）が6ヶ月連続の増加、3位の「鋼材及びその製品」（2.6%増）が7ヶ月連続の増加。

表-1 2018年12月：積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-12月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,645,022	21.8	100.0	17,830,178	7.8
日 本	54,757	7.0	3.3	664,721	2.8
韓 国	79,503	23.0	4.8	845,795	6.8
台 湾	54,191	5.6	3.3	654,915	4.1
中国+香港 計	1,142,858	27.2	69.5	11,927,687	8.2
中 国	1,117,451	27.7	67.9	11,627,808	8.4
香 港	25,407	7.2	1.5	299,879	▲0.8
マカオ	7	▲76.8	0.0	182	▲39.2
ASEAN 計	235,823	7.5	14.3	2,738,990	6.9
シンガポール	7,750	0.2	0.5	99,511	6.8
フィリピン	9,779	4.8	0.6	126,391	1.2
マレーシア	27,092	7.2	1.6	300,806	2.9
インドネシア	33,312	14.5	2.0	386,887	4.7
タ イ	49,271	0.8	3.0	564,299	4.2
ベトナム	102,752	9.3	6.2	1,182,346	9.6
カンボジア	5,242	13.3	0.3	70,566	28.7
ミャンマー	624	21.9	0.0	8,184	27.2
南アジア 計	77,882	18.7	4.7	997,888	12.7
スリランカ	4,809	24.8	0.3	50,779	8.4
バングラデシュ	6,237	4.7	0.4	98,710	7.8
パキスタン	8,224	6.9	0.5	104,286	3.8
インド	58,612	21.9	3.6	744,113	15.0

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

(1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、7ヶ月連続の増加となる**27.5%増の42.5万TEU**（シェア**25.8%**）。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は7ヶ月連続の増加となる**26.9%増の29.5万TEU**。「床材・ブラインド等のプラスチック製品」も7ヶ月連続の増加となる**30.8%増の8.2万TEU**。「建築用具及びその関連品」は4ヶ月連続の増加となる**25.3%増の4.7万TEU**。

(2) 「繊維及びその製品」は7ヶ月連続の増加となる**19.0%増の15.2万TEU**。

(3) 「一般電気機器」は2ヶ月ぶりの増加となる**14.3%増の11.1万TEU**、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は7ヶ月連続の増加となる**33.3%増の4.8万TEU**。

(4) 「自動車部品」は4ヶ月連続の増加となる**22.9%増の6.0万TEU**、「タイヤ及びチューブ」は7ヶ月連続の増加となる**26.1%増の5.2万TEU**。

(5) 2018年・年計では、以下表-2の上位品目の中で「おもちゃ」以外は、過去最高を更新。

表-2 往航:2018年12月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-12月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	294,974	26.9	4.6	7.0	17.9
2. 繊維及びその製品	151,974	19.0	1.8	7.5	9.2
3. 一般電気機器	111,202	14.3	1.0	2.2	6.8
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	82,456	30.8	1.4	11.5	5.0
5. 自動車部品	59,589	22.9	0.8	3.3	3.6
6. タイヤ及びチューブ	51,931	26.1	0.8	8.3	3.2
7. おもちゃ	48,411	17.0	0.5	▲0.8	2.9
8. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	48,128	33.3	0.9	10.4	2.9
9. 建築用具及び関連品	47,416	25.3	0.7	7.2	2.9
10. 車両機器及び部品	43,513	21.7	0.6	10.6	2.6

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表-3 往航:コンテナ運賃の推移(2017年/2018年対比)

(1)EASTBOUND		(Drewry:Container Freight Rate Insight)							(単位: USD/TEU,USD/FEU)			2019年1月9日			
積地	向け地		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%	-20.7%	-10.9%	4.3%	18.5%	20.7%	37.9%	62.1%	66.7%	53.6%
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%	-13.9%	-10.7%	5.5%	16.4%	22.0%	40.2%	61.9%	67.9%	54.2%
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,280	2,750	2,910	2,800	3,070	2,580
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	2,880	3,480	3,720	3,540	3,840	3,320
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%	-16.5%	-6.9%	4.2%	14.6%	20.1%	44.1%	67.7%	73.4%	51.8%
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%	-13.4%	-7.7%	4.5%	14.3%	19.6%	48.8%	64.7%	69.2%	55.9%
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100	1,680	1,850
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620	1,970	2,270
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%	-4.5%	-3.1%	-2.5%	11.9%	6.8%	11.9%	37.3%	9.8%	25.9%
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%	-4.2%	-2.1%	-2.6%	14.7%	9.8%	9.7%	40.1%	5.3%	26.1%
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880	2,550	2,790
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520	2,930	3,400
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%	-4.5%	-16.1%	-9.7%	5.3%	4.7%	10.8%	24.7%	11.8%	15.8%
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%	0.0%	-15.2%	-8.5%	8.3%	7.3%	11.1%	28.0%	8.5%	18.1%

表-4 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1			
12月	62.2	33.0	4.8			

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年12月〔復航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の％は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 復航（米国→アジア 18ヶ国・地域）の荷動き

- (1) 2018年12月の米国からアジア（18ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比2ヶ月連続の減少となる21.4%減の48.4万TEUと2016年1月以来の40万TEU台。10-12月の四半期別累計では、5期ぶりの減少となる前年同期比7.7%減の164.5万TEU。また、2018年・年計では2年連続の減少となる前年比0.4%減の677.3万TEU。
- (2) 国別で見ると、インド（5.6%増）は増加となったものの、日本（19.7%減）、中国（48.6%減）、韓国（16.9%減）、台湾（11.4%減）、ベトナム（21.3%減）などの主要国が減少。地域別では、ASEAN（8.1%増）、南アジア（1.3%増）ともに増加。
- (3) 品目別では「木材及びその製品」（寄与度4.0%減）、「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（同2.9%減）、「採油用の種及び油脂」（同1.5%減）、「繊維及びその製品」（同1.3%減）、「家具及び家財道具」（同1.3%減）などが減少の要因。
- (4) 日本は2ヶ月連続の減少となる19.7%減の5.0万TEU。2018年・年計では、3年ぶりの減少となる4.3%減の73.7万TEU。品目別の1位（2017年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（18.2%減）、2位の「肉及びその調整品」（10.5%減）及び3位の「家具及び家財道具」（12.5%減）が2ヶ月連続の減少。
- (5) 最大の入荷国である中国は、21ヶ月連続の減少となる48.6%減の11.8万TEU。2018年・年計では、2年連続の減少となる23.4%減の210.1万TEU。1位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（46.0%減）が18ヶ月連続の減少、2位の「木材及びその製品」（63.7%減）が6ヶ月連続の減少、3位の「家具及び家財道具」（50.9%減）が4ヶ月連続の減少、4位の「動物用飼料」（36.4%減）が34ヶ月連続の減少、5位の「金属スクラップ」（83.9%減）が8ヶ月連続で50%を超える減少。香港は3ヶ月ぶりの減少となる6.7%減の1.9万TEU。2018年・年計では、7年連続の減少となる13.0%減の23.8万TEU。
- (6) 韓国は8ヶ月ぶりの減少となる16.9%減の5.4万TEU。2018年・年計では、3年連続の増加となる5.2%増の68.3万TEU。1位の「動物用飼料」（13.5%減）、2位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（3.9%減）及び3位の「肉及びその調整品」（8.7%減）が2ヶ月連続の減少。
- (7) 台湾は2ヶ月連続の減少となる11.4%減の4.8万TEU。2018年・年計では、3年連続の増加となる22.9%増の60.7万TEU。1位の「鋼材及びその製品」（12.0%減）が10ヶ月連続の減少、2位の「採油用の種及び油脂」（69.9%減）が5ヶ月連続で大幅な減少。
- (8) ASEANは、全体では15ヶ月連続の増加となる8.1%増の13.8万TEU。2018年・年計では、

6年連続の増加となる**30.4%増の167.4万TEU**。ベトナムは、**15ヶ月ぶりの減少**となる**21.3%減の2.9万TEU**。**2018年・年計では、2年ぶりの増加**となる**45.2%増の43.8万TEU**。**1位の「繊維及びその製品」(13.3%減)**が**4ヶ月ぶりの減少**、**2位の「木材及びその製品」(30.5%減)**が**7ヶ月ぶりの減少**、**3位の「紙、板紙類及びその製品(古紙含む)」(9.9%減)**が**4ヶ月連続の減少**、**5位の「鋼材及びその製品」(83.9%減)**が**5ヶ月連続の減少**。

(9) 南アジアは、全体では**2ヶ月ぶりの増加**となる**1.3%増の5.6万TEU**。**2018年・年計では、6年連続の増加**となる**25.6%増の73.2万TEU**。インドは**15ヶ月連続の増加**となる**5.6%増の4.2万TEU**。**2018年・年計では、3年連続の増加**となる**33.5%増の53.9万TEU**。上位品目が減少となったものの、**5位の「家具及び家財道具」(37.0%増)**が**5ヶ月連続の増加**、**6位の「レジン等の合成樹脂」(35.3%増)**が**9ヶ月連続の増加**、**7位の「木材及びその製品」(34.3%増)**が**6ヶ月連続の増加**。

(10) 12月のインバランス(往航を100とした場合の復航の比率)は、前月比**7.4ポイント悪化**の**29.4%**。インバランスを国・地域別に捉えると**日本92.1%**、**韓国68.1%**、**台湾89.3%**、**ASEAN58.6%**、**南アジア71.8%**。インバランスに最も影響を与える**中国+香港は12.0%**。**2018年では前年比3.1ポイント悪化**となる**38.0%**。

表-1 2018年12月:揚国・地域別荷動き

国・地域	復航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-12月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	483,826	▲21.4	100.0	6,772,797	▲0.4
日本	50,452	▲19.7	10.4	736,964	▲4.3
韓国	54,146	▲16.9	11.2	683,177	5.2
台湾	48,392	▲11.4	10.0	606,972	22.9
中国+香港 計	136,769	▲45.2	28.3	2,339,261	▲22.5
中国	117,527	▲48.6	24.3	2,101,210	▲23.4
香港	19,242	▲6.7	4.0	238,051	▲13.0
マカオ	14	▲55.3	0.0	308	▲55.1
ASEAN 計	136,169	8.1	28.6	1,674,396	30.4
シンガポール	13,895	3.8	2.9	170,351	29.2
フィリピン	11,804	12.9	2.4	138,341	12.7
マレーシア	20,813	54.5	4.3	217,795	58.8
インドネシア	36,107	13.5	7.5	413,203	27.0
タイ	22,170	25.1	4.6	249,890	14.4
ベトナム	28,824	▲21.3	6.0	437,663	45.2
カンボジア	2,471	▲13.7	0.5	27,246	▲18.1
ミャンマー	2,086	35.8	0.4	19,906	47.9
南アジア 計	55,885	1.3	11.6	731,718	25.6
スリランカ	2,089	5.8	0.4	24,127	9.5
バングラデシュ	2,305	▲8.6	0.5	41,617	3.3
パキスタン	9,828	▲12.6	2.0	127,219	8.8
インド	41,662	5.6	8.6	538,756	33.5

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

II. 復航の品目別荷動き

- (1) 復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は2ヶ月連続の減少となる17.8%減の8.3万TEU。
- (2) 「動物用飼料」は3ヶ月連続の減少となる12.5%減の4.0万TEU。
- (3) 「繊維及びその製品」は2ヶ月連続の減少となる24.2%減の2.5万TEU。
- (4) 「木材及びその製品」は5ヶ月連続の減少となる50.2%減の2.4万TEU。
- (5) 「家具及び家財道具」は4ヶ月連続の減少となる25.2%減の2.3万TEU。

表-2 復航:2018年12月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-12月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 紙、板紙類及びその製品(古紙含む)	83,439	▲17.8	▲2.9	▲14.4	17.2
2. 動物用飼料	40,084	▲12.5	▲0.9	▲6.7	8.3
3. 繊維及びその製品	24,921	▲24.2	▲1.3	6.0	5.2
4. 木材及びその製品	24,407	▲50.2	▲4.0	▲7.8	5.0
5. 家具及び家財道具	23,064	▲25.2	▲1.3	▲6.4	4.8
6. 採油用の種及び油脂	22,437	▲28.6	▲1.5	2.9	4.6
7. レジン等の合成樹脂	20,031	18.5	0.5	18.5	4.1
8. 肉及びその調整品	16,820	▲19.8	▲0.7	▲5.5	3.5
9. 野菜及び種苗類	12,991	19.9	0.4	21.0	2.7
10. ピッチ、タール等の鉱物性残留物	12,164	0.9	0.0	32.1	2.5

III. コンテナ運賃の動向

(2)WESTBOUND (Drewry:Container Freight Rate Insight) (単位: USD/TEU,USD/FEU) 2019年1月9日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	600	600	640	650	670	640	620	640	630	630	640	660
			40ft	760	750	780	780	780	760	740	750	750	750	750	770
		2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	700	710	710
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820	820
		前年比	20ft	6.7%	6.7%	-1.6%	-4.6%	-1.5%	7.8%	21.0%	0.0%	1.6%	11.1%	10.9%	7.6%
			40ft	1.3%	2.7%	-5.1%	-5.1%	2.6%	9.2%	13.5%	0.0%	1.3%	9.3%	6.5%	6.5%
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	960	970	940	960	960	930	910	920	900	900	910	910
			40ft	1,180	1,200	1,170	1,180	1,160	1,120	1,090	1,110	1,080	1,080	1,090	1,090
		2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880	880
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010	1,020
		前年比	20ft	-5.2%	-6.2%	-6.4%	-8.3%	-9.4%	-5.4%	-9.9%	-10.9%	-12.2%	-6.7%	-3.3%	-3.3%
			40ft	-6.8%	-8.3%	-8.5%	-10.2%	-10.3%	0.9%	-1.8%	-3.6%	-4.6%	-10.2%	-7.3%	-6.4%
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	820	820	800	850	850	870	860	810	830	810	850	860
			40ft	1,050	1,050	1,020	1,090	1,090	1,100	1,090	1,040	1,040	1,020	1,060	1,060
		2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900	930
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160	1,210
		前年比	20ft	6.1%	7.3%	10.0%	3.5%	-7.1%	-9.2%	10.5%	13.6%	8.4%	21.0%	5.9%	8.1%
			40ft	2.9%	3.8%	6.9%	1.8%	-8.3%	-8.2%	12.8%	15.4%	14.4%	24.5%	9.4%	14.2%
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	1,150	1,210	1,160	1,240	1,240	1,250	1,240	1,150	1,150	1,140	1,190	1,200
			40ft	1,430	1,510	1,470	1,570	1,570	1,590	1,580	1,460	1,460	1,440	1,440	1,450
		2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330	1,350
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690	1,730
		前年比	20ft	8.7%	3.3%	8.6%	0.8%	-1.6%	-2.4%	10.5%	17.4%	19.1%	22.8%	11.8%	12.5%
			40ft	3.5%	-2.0%	1.4%	3.2%	-4.5%	-6.3%	11.4%	21.9%	22.6%	26.4%	17.4%	19.3%

IV. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3